



2015
紀の国 **わがやま大会**
第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

審判副委員長

上土谷 政高

戦評用紙

種 別	知的障害の部 (女子)	会 場	海南市総合体育館
-----	-------------	-----	----------

平成 27 年 10 月 24 日 土 曜日	第 1 日目
------------------------	--------

B	コート	第 2 試合
---	-----	--------

☒ 1 回戦 ☐ 準決勝 ☐ 交流試合 ☐ 3位決定戦 ☐ 決勝戦

◎試合結果

勝利チーム					
兵庫県	2	25	—	9	
都道府県・市名		25	—	18	
			—		
				0	宮城県
					都道府県・市名

【審判員】

主 審： 川合 加織

副 審： 田中 麻美

記録員： 河野 孝史

A・S： 土谷 真美 福島 千晴

【戦 評】

記載者： 増野 彰

第一セット序盤、堅さの見える両チーム。先に流れを掴んだのは兵庫県。兵庫県10番中塔の3連続サービスエースと、6番戸田の2連続サービスエースなどで7-1と大量リードを奪い宮城県が一回目のタイムアウト。タイムアウト後、宮城県1番大川のスパイクなどで徐々に落ち着きを取り戻し、6-11と中盤をむかえる。その後、兵庫県1番岡田、10番中塔のサービスエースで18-7と宮城県を突き放す。宮城県は4番木村に代えて、5番遠藤を投入して流れを変えようとするが、兵庫県10番中塔のサーブが決まり25-9で1セット目を先取する。第2セット序盤、2-2の同点から兵庫県8番西馬のスパイクポイント。続く6番戸田の連続サービスエースで、9-2で大きく点差を広げる。その後、宮城県2番の粘り強いレシーブから相手のミス进行、7-12と調子を取り戻す。中盤、兵庫県8番西馬のサービスエース。宮城県1番大川のスパイクポイントで両チーム譲らない展開で19-15兵庫県リードで終盤を迎える。兵庫県は8番西馬にトスを集め得点を重ねる。一方、宮城県は、2番安部(麻)のスパイクで応戦し18-22と兵庫県においすがった。最後は兵庫県4番有村の連続サービスエースと相手のミスで25-18で兵庫県が勝利した。